

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

日時	平成29年11月17日（金） 午後6時30分から午後8時20分まで
場所	セントラル旭川ビル 4階会議室
出席者	参加者：阿部三重子氏，江口尚文氏，芝生俊明氏，中村康広氏，林邦子氏，平泉美智子氏，森田茂紀氏， 計7名 事務局：松田次長，樽井課長，本間主幹，友田補佐，山崎係長，堺井主査，辻村，岩本 計8名
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	○第1回懇談会配付分 資料1 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会開催要綱 資料2 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会参加者名簿 資料3-1 懇談会の運営方法について（案） 資料3-2 傍聴者のみなさまへのお願い 資料4-1 社会教育活動補助金について 資料4-2 社会教育活動補助金交付要綱 資料5-1 旭川市文化芸術事業補助金について 資料5-2 旭川市文化芸術補助金募集要綱 資料5-3 旭川市文化芸術補助金交付要綱 参考資料 文化芸術事業補助金制度に関するアンケート調査結果集計 参考資料 社会教育活動補助金交付状況及び旭川市文化芸術事業補助金交付状況 ○第2回懇談会配付分 資料6 第1回懇談会において出された意見等について ○第3回懇談会配付分 資料7 第1回及び第2回懇談会において出された意見等について
次第	1 開会 2 前回会議録 3 議題 （1）資料説明 （2）補助金制度についての意見交換 4 その他 5 閉会

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

事務局	<p>時間前ですが、今回の会議の資料の確認をお願いします。</p> <p>まず、これまでに配付した資料は、今日、持参いただくようお願いしていましたが、お忘れの方がいましたら、事務局に申し出てください。</p> <p>次に、今回の配付資料は資料7です。</p> <p>また、前回の会議で御指摘のあった資料6の修正については、第1回と第2回の意見をまとめた資料7の中で修正しています。</p> <p>なお、この会議につきましては、会議録作成のため録音させていただきますので、予め御了承ください。</p>
事務局	<p>御案内の時刻となりましたので、只今より第3回旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会を開会します。</p> <p>本日は、最初に前回の会議録について御説明し、そのあとで議題に入っていきます。</p> <p>なお、終了は8時30分までを予定しています。</p> <p>今回の参加者ですが、1名が御都合により欠席されています。</p>
事務局	<p>続きまして、前回会議録についてですが、現在作成中です。</p> <p>近日中に会議録案をお渡しし、内容確認をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>では、本日の議題に入ります。</p> <p>進行役の方、よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>はい。皆様、よろしくお願いします。</p> <p>今日配られた資料7について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料7について御説明します。</p> <p>この表は、第1回及び第2回会議での意見を事務局において要点整理したものです。</p> <p>読み上げますので、皆様の発言内容を確認してください。</p> <p>(資料7読み上げ)</p>
進行役	<p>今、事務局から資料7について説明がありましたが、皆様の発言内容で抜けている部分はありませんか。</p> <p>なければ、資料7を踏まえて新たに皆様の御意見をいただきたいと思います。</p>
参加者	<p>社会教育活動補助金も文化芸術事業補助金も徐々に予算が減っていますが、教育委員会としてどのように予算要求を行っているのですか。</p>
事務局	<p>必要分を予算要求しますが、過去3年間の実績を提出していく中で財政課から査定されていきます。厳しい財政状況もあって要求どおりに行かないのが現状です。</p>
参加者	<p>今年度よりも増額して予算要求をするのですか。</p>
事務局	<p>予算要求時には、今年度の実績を踏まえて要求はしますが、大幅に積み上げでの要求は難しいと考えております。</p>
参加者	<p>予算要求時、申請額に比べて予算が不足した場合は、「各申請者には何パーセントか減額して交付した」といったような報告はしているのですか。</p>
事務局	<p>文化芸術事業補助金で予算額を超える申込みがあったのは今年が初めてで、そ</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>の状況は予算要求時に財政課に説明していきますが、市の全体の予算の中で査定を受けるので、来年度予算を増額要求してもそのまま通るとは限りません。</p>
事務局	<p>基本的に予算要求は実績ベースで行いますが、前年の実績だけでなく過去3年間の実績も参考に査定されています。</p>
事務局	<p>一般会計で1,600億ほどの規模の予算枠があり、全部局の要求を積み上げると全体の枠を大体上回ります。</p> <p>希望どおり予算要求が通るわけではないことを御理解ください。</p>
参加者	<p>補助金の予算を要求するときに、教育委員会が、示された枠を超えないように工夫して収めようとするからそうなるのですか。</p>
事務局	<p>いえ、前年度になかった事業や施設修繕費などもあり、全体として予算要求が前年度予算を上回る中で、財政当局により取捨選択され、全体額がまとめられるということです。</p>
事務局	<p>補足すると、2～3年に1回の事業などもありまして年によって増減の変動があります。</p> <p>各部は必要な金額を予算要求していますが、全体の予算の中で査定されるため、要求どおり予算がつくのは全庁的に難しい状況にあります。</p>
進行役	<p>市の予算では、歳入と歳出のどちらが先に決まるのですか。</p>
事務局	<p>歳入と歳出は、収支のバランスの上で、同時に予算が決定されています。</p>
事務局	<p>市の税収上は、市民税や固定資産税など約400億を見込んでいます。</p> <p>それ以外、国庫補助金のように、その事業を採択すれば事業の補助率が決まっているので、収入が自動的に見込まれるというものもあります。</p>
進行役	<p>それは確実に入るものなのですか。</p>
事務局	<p>それは事業を行って見ないと実際にはわからないものです。</p> <p>予算は、歳入と歳出とが連動して決定されるものです。</p>
進行役	<p>市の予算は、赤字にならないよう、バランスをとって予算編成されているということですね。</p>
事務局	<p>予算編成の時点では収入と支出が均衡しています。</p>
進行役	<p>その論理であれば、補助金の予算を増やしても問題ないのでは。</p>
事務局	<p>補助金の場合には支出一辺倒の事業で税収などの財源は限られており、優先して補助金予算を増額するというのは難しいです。</p>
進行役	<p>補正予算で補助金を計上することは難しいのですか。</p>
事務局	<p>補正予算は、急な収入や支出に対応するために組まれることがありますが、比較的大きな事業が対象となっていて、議会の承認も必要です。</p>
進行役	<p>やっぱり、予算を増やすには実績を積んでいかないといけないですね。</p>
参加者	<p>文化芸術事業補助金はもちろん、社会教育活動補助金についても、残金が0円になるような、もっと言えば予算より申請額が少しでも上回るような努力していかないと、いつまでたっても予算が増えていかないのではないのでしょうか。</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>予算を残したために翌年度の予算が減らされていくという流れを繰り返していけば、市の補助金の力が弱くなって行きます。</p> <p>逆に申請額が予算を上回り案分で交付するとしたら、その場合は補助額が上限額よりも何パーセントか減額されることを議会でも分かってもらい、予算の増額に繋げて行かなければなりません。</p>
進行役	<p>これまで、申請額が予算を超えた場合の選定方法については、抽選よりも案分の方がいいという意見が出ましたが、案分ではなく、他の方法、例えば、旭川市にとってふさわしい事業をコンペ方式のような審査を行って選定するという方法はいかがでしょうか。</p> <p>子供達を対象とする事業を採択時に考慮できるなど、基準を設けて審査会で決定することにより、限られた予算内で市の方向性のある程度打ち出すことができるのではないのでしょうか。</p>
参加者	<p>補助金（文化芸術事業）を受ける立場から話すと、前回の懇談会で、0か100かよりも、減額されてでも案分による方がいいと答えたかもしれませんが、本当に案分が妥当な方法なのかまだ自分の中で固まっていません。</p> <p>公平性を増すために今後周知を進めると、申請数が増え、案分では広く薄く交付することとなり、費用対効果から見て補助の大きな効果は得られないかもしれません。毎年の催しの足しになるだけで終わってしまう。</p> <p>旭川市の文化芸術事業として何か特色のあるものに対して補助金を出すことがあってもよいのではとも考えています。</p> <p>ちなみに、現制度では、予算内であれば補助の要件を満たした申請者全員に交付されていると思いますが、平成26年度以前の旧制度ではどうでしたか。</p>
事務局	<p>申請額全額は交付していなかったと思います。</p>
参加者	<p>そうですね。たしか旧制度では、定例的な事業は却下され周年事業は交付されたことがあり、申請に対し取捨選択されていたとの記憶があります。</p> <p>申請要件に合致するものすべてに案分交付して補助の効果が薄れるよりも、方針を定めた上対象を絞って補助するという方法も考えられると思います。</p>
進行役	<p>状況によって、審査委員会を開いて絞りこむということですか。</p>
参加者	<p>あるいは、要綱で規定して選定対象を絞り込むのがよいのでは。例えば、毎年定例の発表会よりは周年事業に重きを置くなどです。もちろん絞るからには客観性のあるルールが求められます。</p>
進行役	<p>ある程度間口は広げたままで、その上で、何らかの方向性によって絞るやりの方がよいのでは。要綱で選別するより第三者が客観的な立場から審査する方が一般的なやり方ではないかと思います。</p> <p>予算が縮小する中で周知が進むと申請者は増えると思いますが、市の方向性にあったものを審査委員会で選定し、優先的に補助していくという方法もあってよいと思います。皆さんの御意見はどうですか。</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

参加者	<p>文化芸術事業補助金の上限額に対し社会教育活動補助金の基準額は低く、社会教育の範囲で何か大きいことをしようするときのために、上限額のようなもので少しこれを上げていただく、あるいは、文化芸術との落差を縮めていただくような枠ができないものでしょうか。</p> <p>それは、いたずらに補助額を上げてほしいということではなくて、コンペのような審査を通るもの、文化芸術との共同事業、子育て支援に繋がるものなどを対象とする。社会教育活動補助金の基準額がこれだけと受け取られてしまうよりも、上限額ということでもう少し幅があれば、新しい試みをやってみようという方に呼びかけしやすくなると思います。</p> <p>あるいは文化芸術の補助金と差がないという形で何か考えさせていただいた方が、周知ということでは私たちの社会教育活動の範囲ではしやすいと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>社会教育活動補助金の基準額と文化芸術事業補助金の上限額はどのように違ってくるのですか。</p>
事務局	<p>まず、社会教育活動補助金と文化芸術事業補助金と成り立ちが違います。</p> <p>文化芸術補助金は比較的大きな規模の事業、社会教育補助金は小規模な活動を対象としています。</p>
参加者	<p>社会教育活動の中で、新しい企画を出してこれから何かやっていこうという方は出てくると思いますし、特に小さい子供の範囲からはずれてしまう中学生や高校生といった若い人たちへの企画を考えると、今の基準額では力が足りないと思います。</p> <p>普段は基準額内での補助でも、上限額の設定があるならば、何かのときのために基準額とは違う枠を設けて審査を行う、ということができないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>社会教育活動補助金は小さな活動を対象にしていますが、活動規模は徐々に大きくなっていると思われますので、状況の変化に合わせての見直しは考えられます。現行の制度で補助額を増やしてほしいという御意見と受け止めてよろしいですか。</p>
進行役	<p>そういうことだと思います。</p> <p>おそらくこの社会教育活動補助金制度は何十年も前に作られたものでは。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
参加者	<p>あるいは、社会教育活動補助金の補助基準額と、文化芸術事業補助金の補助上限額との差を縮めてもらえないでしょうか。</p>
事務局	<p>もともとの成り立ちが違うこともあり、差を縮めるというより、社会教育活動のニーズに合わせ見直すという方が考え方として整理しやすいと思います。</p>
進行役	<p>制度開始時点から時代は変わってきていて、たとえば現在は子供の居場所が求められており、それに対処する色んな団体ができています。であれば、今の時代に合うような事業が今後始まる、あるいはもう始まっているかもしれない。その</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>ときに補助金額がこの2～3万では全く足りないということがあり得ますので、社会情勢等に応じて金額も見直す機会にあると思います。</p>
事務局	<p>社会教育活動補助金と文化芸術事業補助金とはもともとの目的が違います。</p> <p>ここは要望に関してできるできないの議論をする場ではありませんが、社会情勢も変化しておりますし、予算の面も考慮しながら、今の御意見は今後の補助金見直しの参考とさせていただきたいと思います。</p>
参加者	<p>家庭教育の範囲で収まっていればそれにこしたことはないのですが、今逆にそれでできない部分を何とかというのが社会教育活動ではないかと考えております。</p> <p>そこからはみ出てしまう中学生や高校生といったところまで枠を広げて考えると家庭だけでは手が届かないところが増えていくと思われまますので、そういうことを考えて活動する者たちに補助金を使わせていただければと思っています。</p>
参加者	<p>社会教育活動補助金は、毎年決算額が予算額に満ちていないし件数も少ないですが、周知徹底が足りないのか、それとも、現基準額では受けても仕方がないと受け止められているからでしょうか。</p>
事務局	<p>社会教育活動補助金については、文化芸術事業補助金に比べ周知が弱いのは確かで、何らかの見直しが必要と考えております。</p> <p>基準額の多寡についての利用者の意見は把握していませんが、皆様の中からそういう意見が出てくるのであれば、やはりそうなのかなという印象はあります。</p>
進行役	<p>おそらく基準額に見合った団体が申請しているということでは。</p>
事務局	<p>家庭教育の支援、地域の教育力の向上といった小さな活動を対象にスタートした制度であり、結果的にその可能性はあります。</p>
進行役	<p>例えば、旭川の地元愛を育むための、青少年向け地域探訪講座やツアーは、社会教育活動補助金の対象になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>家庭教育の支援や地域の教育力の向上に繋がるかを審査した上で決定することになります。現制度の補助目的と現状が合っていないければ、それに応じて制度の見直しは必要と考えております。</p>
進行役	<p>私は、小さな子供たちや学生たちに旭川を好きになってもらいたいと思い、いくつか活動を行っています。事業によっては何十万円もかかるのでクラウドファンディングなどを利用し、市の補助は受けていません。補助を受けることができるならば、子供たちも市は頼りになると思っています。</p> <p>社会教育活動補助金の制度が作られた頃と比べると、子供はどんどん減っています。市からの流出を阻止しないとだめだし、社会教育にはその役割を果たせる力があると思っています。文化芸術も同様です。そういう意味で、前回若い人のための枠を設けるべきと述べました。</p>
参加者	<p>社会教育活動において、旭川出身者で活躍している人を講師として呼びたいのですが、費用がかかり断念したことがあります。</p> <p>基準額ではなく上限額として審査の対象となれば、いろんなアイデアが出ると思いますし、アイデアを持っている人は市内にたくさんいると思います。</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>他の部局の分を減らしてほしいという意図での立案ではありませんし、そういった影響も生じうるという説明も重々承知した上での提案であります。</p>
事務局	<p>皆様からの色々な意見を伺っておりますと、両方の制度が使いやすくなるならば、例えば、社会教育活動補助金と文化芸術事業補助金を一つにして幅広く使えるようにするという事も考えられるかと思えます。そのようなことも含めて、皆様の意見を参考にしながら制度の見直しを検討していきたいと考えております。</p>
参加者	<p>前回の懇談会までは、要綱の改正はすぐにはできないと思っていましたので、それぞれの補助金の基準額と上限額を上手に活用できないかと思つての提案だったのですが、これからのことを考えて社会教育活動補助金と文化芸術事業補助金との枠組を見直すという考えもあるということでしたら、時間がかかっても検討していただければと思います。</p> <p>特に旭川は社会教育を大事にしている都市だと思つていますし、そういったところをぜひ活かしてほしいと思ひこの場に参加しています。</p> <p>どこかの予算を増やせばどこかが減るということは理解していますし、そのつもりの提案ではありませんが、ただ、特別枠や数年に一度の事業などのアイデアを出せる場をぜひ懇談会に導入してほしいと思ひます。</p>
事務局	<p>社会教育活動補助金も文化芸術事業補助金もそれぞれに課題があります。</p> <p>ただ、行政だけでは見えないこともありますので、皆様からこういった場で御意見を伺い、見直しの検討材料とさせていただきたいと考えていますし、ただいまのお話もそのための貴重な御意見として認識しています。</p>
参加者	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>今回の懇談会で文化芸術活動のことも知ることができましたし、そのことを子供たちに伝えることができます。</p>
進行役	<p>来年度も今年度並みの予算を想定しているということですが、予算を上げて要求するという発想はないのですか。要求しても削られるでしょうが、どんどんアイデアを出して、予算を増やすことも考えていかないとだめではないでしょうか。</p> <p>今、子供たちに対し力を入れないと本当に旭川市はだめになりますよ。時代時代に合わせて補助金額や対象などを変えていかないと。補助金制度を一から組み直すぐらいの思い切つた考えがあつてもよいのでは。</p> <p>何でもかんでもやろうとするのではなく、何をやらないかをすばつと決めて行政を行つていくべき。金がないことを理由に新しいことはやりませんでは全然魅力的な街にならないですし、金のない中で旭川の個性をいかすにはどうしたらいいか、未来を作るにはどうしたらいいかを考えないとだめではないでしょうか。</p> <p>そのために、社会教育は大事なものだと思ひますし、補助金制度ができたときは子供たちを取り巻く状況が今とは全く違うことを理解する必要があると思ひます。</p> <p>今のような意見も出ましたので1つの参考にしてください。</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>本懇談会では、限られた予算の中でいかに効率的に制度を運用できるかということで、採択方法について、抽選、案分、第三者機関による審査といった3つの意見が出ました。</p> <p>3つの中でどれが良いかというのは懇談会ではなく市で判断するのですか。</p>
事務局	<p>皆様からいただいた様々な意見を参考にし、また、他市への調査なども検討の材料とした上で、市が見直しの内容について決めます。</p>
進行役	<p>採択方法の見直し以外に、限られた予算をどう使っていくかについて、意見はありませんか。</p>
参加者	<p>社会教育活動補助金と文化芸術事業補助金とを一緒に見直ししているの、両制度の一本化の可能性が考えられますが、そうすれば、文化芸術的な社会教育など、その事業の規模や内容に応じて予算を流動的に運用できますし、軽重をつけて柔軟な執行ができるのではないかと思います。</p>
進行役	<p>それも有効な方法だと思います。また、前回出ましたように両団体で連携した事業を補助の対象にするということも考えられます。是非検討してみてください。</p>
参加者	<p>補助金見直しの議題とはずれるかもしれませんが、金がないのは間違いないことなので、その中でどういう工夫が出てくるか、両補助金の一本化もプランとしておもしろいと思いますが、金以外の資源をどう生かすかを併せて考えることが大事だと思います。</p> <p>金を出せないが場所は提供できる、こういった活動をしている人を紹介できるというようなことです。</p> <p>例えば、空き屋が増えてきています。個人所有物では難しい面もあるかもしれませんが、廃校などの活用はできないでしょうか。演劇関係はどうしても練習場所と道具の置き場所が必要で、アマチュア劇団で供用できる場所があると大変助かります。</p> <p>人や場所のほか、活動の助けとなるような情報や知識を必要とするときに提供してくれる窓口も必要です。</p> <p>このような人、場所、タイミングといった金以外の資源を統括し得るのは、教育委員会などではないでしょうか。</p>
進行役	<p>そのような窓口は実際にはないのですか。</p>
事務局	<p>それは、行政の役割を超えているように思います。</p> <p>例えば、空き屋は民間のものです。</p>
参加者	<p>いえ、公共施設の空きスペースでもいいのですが。</p>
事務局	<p>空き屋が放置されていて危険があるとか、財産管理が適正に行われていないという点では関わっていますが。</p>
進行役	<p>市民がそういった相談をしたらやはり市役所しかないのでは。ホームページなどを見ると、支所では様々な相談に乗っているようですが。</p> <p>困ったときには市役所を頼る、あるいは、相談窓口に繋いでもらえるような窓口があっても良いのでは。</p>
参加者	<p>例えば、旭川文学資料館は、旭川に関係のある文芸関係者の本がどんどん消え</p>

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

	<p>ていく中で、本をもらって残していこうという市民の活動から始まりました。</p> <p>小学校の空き教室を借りて資料を貯めていきましたが、そこが一杯になり、旧青少年科学館（現常磐館）を借りて移りました。そこでの活動を何年か続けた後、市に働きかけて、今の旭川文学資料館となりました。</p> <p>このように、場所を必要とする人たちが廃校や空き教室を借りる相談ができる場を作ることができないか。借りて使い、活動が大きくなったら、また別の場所を借りることができるという仕組みがほしいです。</p>
進行役	今のところそういう仕組みはないですね。
参加者	ええ、ないですね。でも十何年も活動して旭川文学資料館が実現しました。そういった相談をできる場を作ることにはできないのですか。社会教育活動でも同じことです。相談に行き力を貸してくれる場所を作っていくことが大事だと思います。
進行役	<p>ここではこういった話が出たということにしかならないでしょうから、要望として市長との対話集会の場で直接に訴えろとか、あるいは、このような懇談会の場で地道に市側に伝えていくということになるでしょう。</p> <p>ただ、建物の利用は、維持費など難しい問題もあるのでしょうか。</p>
事務局	旭川文学資料館について伺っている話では、要望や市長公約、旧青少年科学館の利用方法の検討等があった中で、啓明小学校の空き教室の利用から旧青少年科学館に移転したという経過があります。
進行役	さて、これまで、色々な意見が出ました。このような制度の見直しは定期的に必要なと考えられますが、それについて御意見はありませんか。特に社会教育活動補助金は長い間見直しされていないようですが。
事務局	社会教育活動補助金については、平成21年度や平成25年度に小さな見直しをしております。ただ、定期的に見直しをするといった決まりはなく、そのことで何か御意見があれば参考にさせていただきたいと思います。
進行役	社会教育活動補助金の過去の見直しは、そろそろ実情に合わなくなってきたとの判断で行い、たまたまその年に行ったということですか。
事務局	<p>平成21年度は、家庭教育支援を行う団体の増加を目指したいとの目的で補助事業の学習内容に応じて上限額の見直しを行い、平成25年度は、単発でも関係する事業形態を新設して補助率を2分の1に設定した、と聞いております。</p> <p>いずれにしましてもそのときの課題に応じて見直しを行っております。</p>
参加者	市民の要望を知ってもらうためにも、例えば5年に1回など、何年かごとに制度の見直しの場を作るべきだと思います。そして、市として何に力を入れて行くべきかを検討すべきだと思います。
進行役	前回の見直しのときは、このような懇談会は開いていないのですか。
事務局	社会教育活動補助金については開いていないと思いますが、文化芸術事業補助金については平成26年度の大きな見直しの際に懇話会を開いています。
進行役	何年ごとがいいかはわかりませんが、できれば懇談会の形で現場の意見を聞いて、定期的に制度の見直しを検討していただければと思います。意見として出しておきます。

第3回 旭川市文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会 会議録

参加者	<p>今回参加して、懇談会は大事だと思いましたが、今回、分野の違う芸術文化の方々と合同で行えたということで、自分たちが今まで何をしてきたか、子供たちとどう向き合うかを考えるすごくいい契機になりました。不定期でもこういう機会を設けていただけたらと思います。</p> <p>合同で行えたことで、両補助金の一本化という意見も聞けましたし、これからの自分たちの活動を市の方と一緒に考えられたこともよかったです。また、市が子供たちのことをどういうふうに考えているのかをたくさん聞くことが出来たと思います。</p>
進行役	<p>ほかに意見はありませんか。</p>
参加者	<p>若年層も重要であるが、高齢化が進んでいる状況で、退職者世代が積極的に社会・文化向上のため活動していることにも配慮してください。</p>
進行役	<p>もちろん、退職者世代への配慮も従来どおり大事なことです。</p> <p>ただ、これまで若年層という視点があまりなかったということだと思います。</p> <p>私は仲間と一緒に居場所作りの活動をやっていて、運営のためカンパを求められます。また、ほかに行っている事業も赤字であり、持ち出しがあります。でも、だからといって事業を行わなければ、何も生まれません。</p> <p>市の補助金制度も、予算がない現状のもと限られたものとなっていますが、旭川の未来を創り出すために工夫をしながら使っていくことが重要だと思います。</p> <p>ほかに意見がないようですので、これまでに出了された意見を事務局にまとめてもらい、制度見直しの際に参考としてもらえたらと思います。</p> <p>懇談会の進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>進行役様、参加者の皆様、ありがとうございました。</p> <p>最後に、全体を通して御意見や御質問はありませんか。</p> <p>なければ、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>今回の会議録につきましては、まとめ次第、皆様に送付しますので、内容確認をお願いします。内容に疑義等がありましたら、連絡をいただければと思います。</p> <p>参加者謝礼につきましては、今後、支払いの手続きを進めて行きます。</p> <p>支給は12月初旬になる予定ですのでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>以上で、全3回を予定していました懇談会が終了することとなります。</p> <p>本懇談会の閉会に当たり、社会教育部次長より御挨拶申し上げます。</p> <p>(社会教育部次長の挨拶)</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第3回文化芸術等補助金の見直しに関する懇談会を閉会します。</p> <p>皆様、ありがとうございました。</p>